

# TEISO TOYOKA NEWS

2015年2月号 VOL.73

企画・発行：(株)テイソートヨカ 四日市技術研究所  
掲載している記事の無断使用を禁じます。〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info@teisotoyoka.com](mailto:info@teisotoyoka.com)

## 手洗いの重要性と落とし穴

寒くて空気が乾燥する日が続いています。このような気候の時に流行るのがインフルエンザですよね？今年のインフルエンザの発生ピークは例年より早く、なおかつ感染者数が多い等猛烈な勢いで拡大しているようです。また、冬はノロウィルスの流行する時期でもあります。何度もご紹介していますが、食べ物が腐りやすく、高温・高湿度の夏場とは違い、冬場は感染症対策の意識が低下するシーズンです。しかし、最近上記のウィルス感染症の重要性について認知され、マスクや殺菌剤、加湿器などが浸透し、冬場にも感染症対策が重要であることが広まってきているのではないかと思います。

感染症対策の中で、もっともシンプルかつ重要な対策は「手洗い」です。日常生活において手は意識・無意識に関わらず、色々なものに触れます。その手に細菌やウィルスが大量に付着していたとしても、気づかずに色々な人や物に触り、広範囲に伝播してしまう可能性があります。また手は直接的・間接的に口に触れる機会が多く、手を介して細菌・ウィルスが体内に入る危険性が非常に高いです。だからこそ手洗いは感染症対策において「うがい」と共に重要な対策なのです。

しかし、その手洗いにも大きな落とし穴があるのをご存知でしょうか？

人の手は皺や毛穴など非常に細かな凹凸があり、細菌やウィルスがその凹凸の中にも潜伏しているのです。手を水で濡らすと皺や毛穴に潜伏する細菌やウィルスが手の表面上に浮き上がってきます。そこで入念に手洗いをすればそれらは流れ落されますが、そうではない場合、大量の細菌・ウィルスが手の表面上に「浮きっぱなし」になっているので、この状態で自身の口や物に触れたりすると、そこから伝播することがあるのです。

右の写真は①手洗い前、②手を簡単に水洗いした直後、③入念に手洗いした直後に培地を手密に密着させ、培養した結果です。このように②簡単な手洗いでは逆に手の表面の菌数を増やしてしまうことがわかります。これは適当な手洗いをするくらいなら、手洗いをしない方が良いという意味ではなく、TPOに合わせて正しい手洗いをしていくことが重要であるということです。正しい手洗いの仕方は各自治体等が詳しく分かりやすく表示していますので一度ご覧になってはいかがでしょうか？

### 【参考 HP】

- インフルエンザ流行情報 国立感染症研究所・感染症情報センター； <http://idsc.nih.gov/jp/disease/influenza/>
- 手洗い情報 (公社)日本食品衛生協会； [http://www.n-shokuei.jp/food\\_safety\\_information\\_shokuei2/food\\_poisoning/](http://www.n-shokuei.jp/food_safety_information_shokuei2/food_poisoning/)



今月のオススメ① ノロウィルス・インフルエンザ対策や消臭対策に!!

### 超音波霧化器 & ドクタープラス

「超音波霧化器」は、文字通り超音波で霧を作り出すものです。そして「ドクタープラス」は化学薬品を一切使用しない安全で安心できる消臭・除菌機能水です。その高い効果から、全国の多数の歯科医院や医療・介護施設等で衛生的な環境維持を目的として使用されています。また、ノロウィルスや各種食中毒菌にも効果があるといわれています。超音波霧化器によりドクタープラスを小さな粒子にして噴霧することで、空間の隅々まで効率よく行き渡らせることができます。霧はすぐに気化されるのでドライな状態で濡れる心配はありません。ドクタープラスと超音波霧化器による消臭・除菌作用のコラボを体感してみませんか？

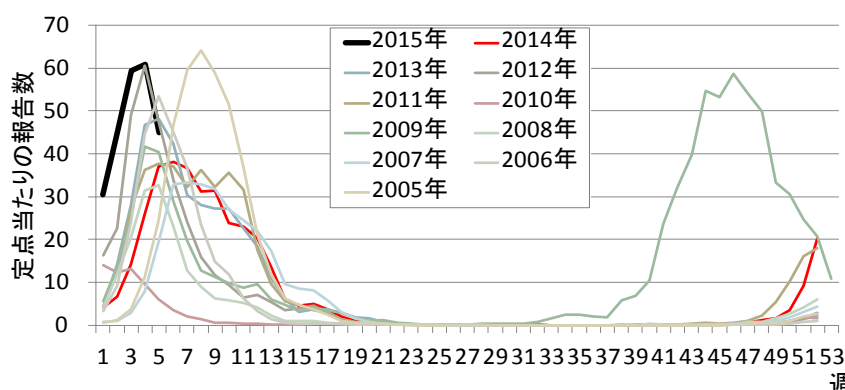


超音波霧化器



ドクタープラス

★☆☆超音波霧化器およびドクタープラスにつきましては、弊社 HP からお問い合わせ下さい★★



図：愛知県の定点当たりのインフルエンザ患者報告数  
(愛知県衛生研究所 HP: <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html> より引用)

## 自然の復元力 Vol. 54

平成 27 年もアツという間に 1 ヶ月が過ぎましたね。今年は年頭からテロ問題が発生し、今後どうなるか不安な年になる予感が致しますが、皆様におかれましては、実りのある年になりますよう祈念致しております。

さて、自然の復元力の本年第 1 号を執筆するに当たり、 Deng 熱というテーマを再度取り上げることになりました。 Deng 熱対策は媒介蚊対策が非常に重要です。感染蚊の発生のない、もしくは感染蚊にさされない環境を維持管理することが必要です。それには、我が国で生じた過去の Deng 熱流行の経験を生かすことや、近年毎年のように Deng 熱の流行が見られる台湾の事例、1999 年流行したハワイ島の事例などを参考にすることも必要と思われます。そこで、雑駁な話になると思いますが、我が国の Deng 熱対策に資するように、著者なりの解説を行うことに致します。紙面の都合上、自然の復元力 1 回では書ききれませんので、数回にわたって書くことに致します。ご参考にしていただければ幸いです。

(1) 昨年発生した我が国の Deng 熱の流行は約 70 年ぶりといわれていますが、流行はどうして生じたか？ また、その時の対策は？

70 年前の Deng 熱流行は、正確には 1942 年～1945 年の間の流行を指します。この流行は当初、戦時中東南アジアの Deng 熱が流行している地域と特に長崎港との間に船舶が頻りに往来していたそうです。このため Deng 熱患者や媒介蚊(ネッタイシマカ)が国内に持ち込まれ、アツという間に住民に感染、 Deng 熱は熊本県にまで拡大し、数十万人が罹患したとされています。第二次世界大戦末期の熊本県等においては、空襲対策として各戸に必ず防火用水の設置が軍の指導によって徹底されていたため、それらが媒介蚊であるネッタイシマカおよびヒトスジシマカの好適発生源となって、繁殖を助長させていたと考えられます。そして、 Deng 熱に汚染された熱帯地域の戦地と行き来があった福岡、広島、阪神地区、横浜でも流行がみられたといえます。第二次世界大戦終結後の動乱期では復員兵の帰国に伴って、ネッタイシマカや Deng 熱患者が入り込み、 Deng 熱の流行が見られましたが、1945 年で流行は収まったとのこと。



ヒトスジシマカ

戦中の Deng 熱対策については、患者への対症療法が行われた以外は不明です。また、1945 年の終戦後の Deng 熱対策の、一つは米国進駐軍による DDT の大量使用(空中散布も含む)による蚊防除が実施されました。我が国としては、「蚊とハエのいない生活実践運動」が実施されたのが 1955 年からですから、それまで具体的な蚊対策は、動乱期のためなかったと思われます。でも、1942 年に我が国で流行した Deng 熱が 1945 年でピタッと止まったのは何故か？ 疑問が残ります。

今回は媒介蚊の発生源、生態、卵をキーワードにして、1945 年に Deng 熱の流行が止まった理由を考察したいと思います。

(Sin)



### 今月のオススメ② 弊社の新商品「バードリペル® ジェル」

弊社は長年、ノラバトに対する防除施工に携わってまいりました。これまでに、様々な忌避剤・防鳥資材を使用し、あらゆる現場状況に応じて対応してきました。また、弊社はその忌避剤の開発にも取り組んで参りました。そして昨年新たにジェルタイプのノラバト飛来防止剤「バードリペル® ジェル」が開発されました。

本商品は、傾斜のある場所でも液垂れしないため安心してご使用頂けるジェルタイプの忌避剤です。忌避成分としては、環境に優しい植物抽出成分を使用しております。

弊社新商品「バードリペル® ジェル」をラインナップに加え、さらなる技術・サービスの向上を目指して参りますので、何卒宜しくお願い致します。

本商品に関するお問い合わせは株式会社テイソトヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！



新商品「バードリペル® ジェル」



Eco Friendly Pest Management  
自然にやさしい総合的有害生物管理  
株式会社テイソトヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析  
有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info-teiso@teisotoyoka.com](mailto:info-teiso@teisotoyoka.com)

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小籠町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
富山営業所	〒939-8261	富山県富山市萩原 42 番地 1	TEL 076-481-6474	FAX 076-481-6471
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430